

## 九州・山口・沖縄地区におけるプリオン病の疫学調査報告

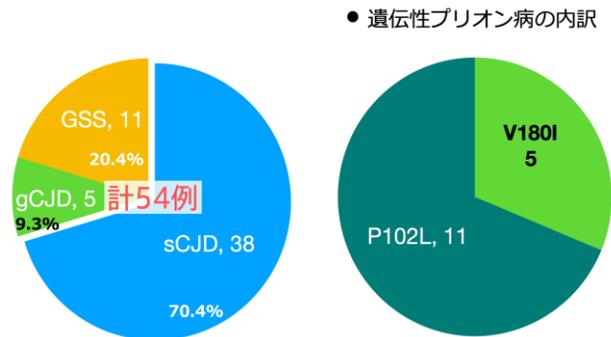
研究分担者：九州大学大学院医学研究院神経内科学 松下拓也・磯部紀子

### 2022年度のサーベイランス状況(90例)

県	sCJD	gCJD	GSS	否定・その他
山口	2			1
福岡	8		6	3
佐賀	5		4	8 (4)
長崎	7	1		4
熊本	7	2		1
大分	1	1		1
宮崎	2			3
鹿児島	1		1	7 (1)
沖縄	5	1		8
<b>計</b>	<b>38</b>	<b>5</b>	<b>11</b>	<b>36</b>

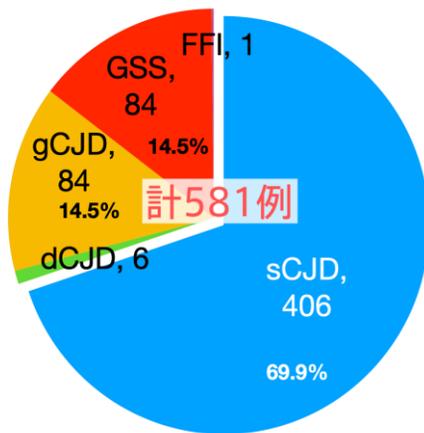
( )内は診断不明だがプリオン病の疑いが残る例

### 孤発性と遺伝性プリオン病の比率

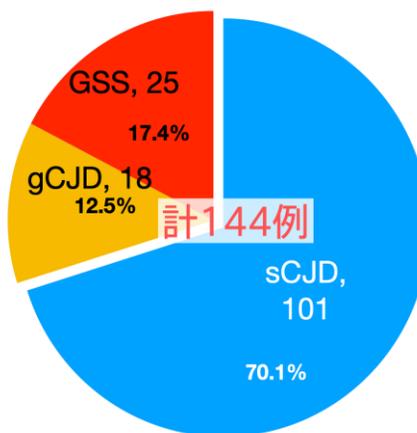


### 孤発性と遺伝性プリオン病の比率

1999年～2020年9月



2020年10月～2023年2月



## 解説

- 2022年度において九州・山口・沖縄地区の90例のプリオン病疑い症例について調査を行い、サーベイランス委員で報告した。
- 孤発性CJDは38例、遺伝性プリオン病については遺伝性CJD5例(V180I変異5例)、GSS 11例(P102L変異11例)であった。
- 同地区において、過去20年のプリオン病症例数と比較して最近2年間の症例数は相対的に増加している。